

令和2年度

運営に関する計画・自己評価
最 終 評 価

校 訓

明るく 正しく 根気よく

学校教育目標

目標に向かって、協力し、
やりぬく子どもを育てる。

大阪市立豊崎東小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では、「目標に向かって、協力し、やりぬく子どもを育てる」という教育目標としている。子どもたちは非常に素直であり、何事においても熱心に取り組むことができる。学校のきまりも大部分の児童がしっかりと守っており、登校時刻に遅れる児童もほとんどいない。休み時間にはチャイムがなる前に教室に戻っているなど、きまりを守り、行動することができる。

また、いじめはほとんどなく、認知したものは解消するように努めている。児童アンケートにおいても「学校へ来るのが、楽しい」という質問に対する肯定的な回答が85%以上である。同じく保護者アンケートにおいても、「子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている」という質問に対する肯定的な回答も9割近い。これらのアンケート結果より、保護者も子どもも、学校に対して一定の安心感・安全感を感じていると考えられる。

ただし、遅刻などが全くないわけではなく、また、遅刻などをする児童が固定されてきているという課題がある。

学力面に関して、基礎学力の向上のために、習熟度別・少人数学習に計画的に取り組んでいる。また、教員の指導力向上のために、授業研究会を計画的に行い、毎年、全員が研究授業に取り組み、討議を重ねている。全国学力調査の結果はだいたい全国平均近くであるが、二極化が見られる。

体力面に関して、子どもたちは休み時間になると運動場に出て、元気に遊んでいる。これまで、新体力テストを年に2回行い、子どもたちの課題を確認し、体力を伸ばすよう取り組んできた。また、なわとび週間やかけ足週間を設けて実践に取り組んできた。その結果、全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、全国平均近くであるが、種目によるばらつきが見られる。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ・ 学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%にする。
- ・ 保護者アンケートにおいて、「学校は、学校だよりや学年だより等を通して、学校や子どもの様子がわかるよう工夫している」「学校は、学習参観や学校行事等、保護者や地域の方が学校に足を運ぶ機会を多く設けている」「学校は、地域の方をゲストティーチャーに招いたり、地域に出かけたりして地域に根付いた学習を行っている」の3つの項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える保護者の割合を85%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・ 全国学力・学習状況調査における国語A・B、算数A・Bの平均を全国平均程度にする。
- ・ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の平均を全国平均程度にする。
- ・ 児童アンケートにおける「学校へ来るのが、楽しい」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- ・ 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。
- ・ 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。

- ・ 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- ・ 保護者アンケートにおいて、「学校は、学校だよりや学年だより等を通して、学校や子どもの様子がわかるよう工夫している」「学校は、学習参観や学校行事等、保護者や地域の方が学校に足を運ぶ機会を多く設けている」「学校は、地域の方をゲストティーチャーに招いたり、地域に出かけたりして地域に根付いた学習を行っている」の3つの項目について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える保護者の割合を85%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標 (小・中学校)

- ・ 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- ・ 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
- ・ 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
- ・ 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- ・ 新体力テストにおいて、全学年、立ち幅跳びの記録の平均を、前年度の平均より5cm向上させる。

学校園の年度目標

- ・ 児童アンケートにおける「学校へ来るのが、楽しい」の項目について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

- 取組内容の進捗状況に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響の中、2つの視点において「予定どおり」いかなかったものもあるが、おおむね計画通り取組を進めることができた。
- 年度目標の視点「子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現」については、「いじめ」「暴力行為」「不登校」に関する項目は達成した。保護者アンケートにおける3項目のうち、「学校は、学校だよりや学年だより等を通して、学校や子どもの様子がわかるよう工夫している」は85%の目標を上回った(91.2%)が、それ以外の2項目については、新型コロナウイルス感染症の影響により、学習参観が行えなかったこと、地域との交流学習等ができなかったことが影響して、目標を達成することができなかった。
※「学校は、学習参観や学校行事等、保護者や地域の方が学校に足を運ぶ機会を多く設けている」…70.5%
「学校は、地域の方をゲストティーチャーに招いたり、地域に出かけたりして地域に根付いた学習を行っている」…71.8%
- 視点「心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上」の年度目標の経年調査に関する項目については、調査結果が3月末なので評価できない。
- 児童アンケートにおける「学校へ来るのが、楽しい」の項目は、肯定的な回答の児童が80%以上で、目標を達成できた。立ち幅跳びについては、新型コロナウイルス感染症の影響

響により、今年度の新体力テストを中止したため、評価できない。

- 年度目標については、新型コロナウイルス感染症の影響により、項目によっては達成できなかったものもあるが、目標を上回ったものもあった。達成できなかったものに対しては対策を練っていきたい。達成できている項目については、来年度も継続して取組を進め、現在の状態を維持していきたい。

大阪市立豊崎東小学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年 度 目 標	達成状況
<p>【子供が安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて解消した割合を95%以上にする。 ・令和2年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。 ・令和2年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童の割合を前年度より減少させる。 ・令和2年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートにおいて、「学校は、学校だよりや学年だより等を通して、学校や子どもの様子がわかるよう工夫している」「学校は、学習参観や学校行事等、保護者や地域の方が学校に足を運ぶ機会を多く設けている」「学校は、地域の方をゲストティーチャーに招いたり、地域に根付いた学習を行っている」の3つの項目について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える保護者の割合を85%以上にする。 	C

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】自らの良さに気づき、自他の違いを認め合う心を育てる。</p> <p>指標 終わりの会などで、一人一人の良さに気づく機会を月に1回以上設ける。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】 場面に応じたあいさつの指導を行う。</p> <p>指標 年2回、あいさつ強調週間を設ける。</p>	B
<p>取組内容③【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>感染症対策を講じた上で、地域へ積極的に出かけたり、地域の方と交流したりするなど、実際の体験を通して五感を使った学習を行う。</p> <p>指標 全学年、校外での活動や地域との交流を年に4回以上行う。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

全市共通目標

- ・ 令和２年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて解消した割合を９５％以上にする。
※ 解消した。
- ・ 令和２年度の小学校学力経年調査における「学校の決まりを守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を８０％以上にする。
※ 結果待ち。
児童アンケート結果において、８９．１％であったため、目標達成予定。
- ・ 令和２年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童の割合を前年度より減少させる。
※ 減少した。
- ・ 令和２年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。
※ 減少した。

学校園の年度目標

- ・ 「学校は、学校だよりや学年だより等を通して、学校や子どもの様子がわかるよう工夫している」
※ アンケート結果において、９１．２％であったため目標を達成した。
- ・ 「学校は、学習参観や学校行事等、保護者や地域の方が学校に足を運ぶ機会を多く設けている」
※ 新型コロナウイルスによる影響により、保護者や地域の方が学校に足を運ぶ機会が大幅に減少した。その中でも感染対策を徹底した上で保護者や地域の方が学校に足を運ぶ機会を設けたが、アンケート結果において７０．５％であったため目標を達成できなかった。
- ・ 「学校は、地域の方をゲストティーチャーに招いたり、地域に根付いた学習を行っている」
※ 新型コロナウイルスによる影響により、地域の方をゲストティーチャーとして招くことが厳しい状態になったことにより、アンケート結果において７１．８％であったため目標を達成できなかった。

取組内容

- ① 道徳科や学級活動の時間などで一人一人の良さを理解できる場面を月に一回以上設けている。
- ② あいさつ強調週間を７月、１１月、２月に実施済み。
- ③ 別紙（１）参照

(1) 校外活動および、交流活動

○ 実施内容

- 全学年・・・よむよむさんによる朝の絵本読み聞かせ（6月～2月に1～4年は3回
5・6年は2回実施）
- 1・2年・・・秋の遠足／扇町公園（10月）
- 3・4年・・・秋の遠足／淀川河川公園
- 1～4年・・・北区音楽劇鑑賞会／悠華民族芸術団
- 1年・・・公園たんけん（6月）
- 2年・・・町たんけん（10月）
図書館見学（10月）
乗り物体験（11月）
- 3年・・・なし
- 4年・・・パッカー車体験（6月）
社会見学／大阪市立科学館（9月）
津波高潮ステーション（9月）
- 5年・・・音楽鑑賞会／シンフォニーホール（10月）
朝日新聞社工場見学（10月）
秋の遠足／国立民族学博物館（11月）
車いす体験（12月）
- 6年・・・修学旅行（10月）

○今後の予定

- 全学年・・・よむよむさんによる朝の絵本読み聞かせ（3月に5・6年1回実施）
- 3年・・・社会見学／スーパーマーケット「LIFE」（3月）

大阪市立豊崎東小学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年 度 目 標	達成 状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 全市共通目標(小・中学校) <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ・小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。 ・小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。 ・小学校学力経年調査・校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 学校園の年度目標 <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートにおける「学校へ来るのが、楽しい」の項目について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。 ・新体力テストにおいて、全学年、立ち幅跳びの記録の平均を、前年度の平均より5cm向上させる。 ・児童アンケートにおける「良い姿勢をたもつことができた」の項目について「できた(ややできた)」と答える児童の割合を80%以上にする。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 学力を向上させる授業力を身に付ける。 指標 対話を通して形や色、イメージについて思考が深まる活動を取り入れた研究授業を行う。	B
取組内容②【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 体験的な学習を行ったり、文化に触れたりする機会を作る。 指標 全学年、体験的な学習や文化に触れる活動を年に2回以上行う。	B
取組内容③【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 子どもたちが行う様々な運動の量や質を高める。 指標 体育の時間で、立ち幅跳びの基本の運動を取り入れる。	B
取組内容④【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 日常的に良い姿勢を保つように取り組む。 指標 学期に1回、姿勢強調週間を行い、自分の姿勢をチェックする。	B
取組内容⑤【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 栽培体験を通じて食育に取り組む。 指標 全学年1回以上、野菜の収穫体験を行う。	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

全市共通目標

※小学校学力経年調査の調査結果が出るのが3月末なので、評価に入れない。

学校園の年度目標

・児童アンケートにおける「学校へ来るのが、楽しい」の項目において「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える割合を80%以上にする。

※アンケート結果において、84.6%で目標を上回り達成した。

・新体力テストにおいて、全学年、立ち幅跳びの記録の平均を、前年度の平均より5cm向上する。

※新型コロナウイルスの影響により、今年度の新体力テストは中止。

・児童アンケートにおける「良い姿勢をたもつことができた」の項目について「できた(ややできた)」と答える児童の割合を80%以上にする。

※アンケート結果において、97.4%で目標を上回り達成した。

取組内容

①全学年各1回、特別支援1回で公開授業を実施した。

1年生1月、2年生3月、3年生12月、4年生12月、5年生1月、6年生11月、特別支援2月に実施した。

②新型コロナウイルスの影響により、校外学習等の特別な活動の実施ができない場面が多くあったが、普段の学習の中で様々な形で取り組んだ。

1年生・・・北区音楽鑑賞会 学校探検 公園探検 昔遊び 玄関前の花壇植え付け

2年生・・・北区音楽鑑賞会 図書館見学 駅探検 町探検 ザリガニ釣り

3年生・・・北区音楽鑑賞会 百葉箱前の柑橘類植え付け

4年生・・・社会見学 北区音楽鑑賞会 パッカー車体験 ヘチマたわし作り

5年生・・・音楽鑑賞会/シンフォニーホール 社会見学/朝日新聞社工場見学 社会見学/民族学博物館見学 非行防止教室 車椅子体験

6年生・・・修学旅行での陶芸体験・カヌー体験・ドラゴンボート体験 お菓講座

③体育の学習で、跳ぶ動作や体幹・筋力をつける運動を取り入れた。

④学期に1回、姿勢強調週間を行った。

1学期7月、2学期11月、3学期1月に実施した。

学級指導や保健指導、姿勢がんばりカードの自己点検や保健委員会児童の放送、保健だより等による保護者への啓発活動を計画的に実施し、正しい姿勢を保とうとする児童の意識は高まってきた。

⑤全学年、目標を上回って実施された。

1年 キュウリ・トウモロコシ・青首ダイコン・ハウレンソウ

2年 枝豆・トウモロコシ・サツマイモ・聖護院ダイコン・金時ニンジン・白菜、ハウレンソウ

3年 枝豆・トウモロコシ・青首ダイコン・五寸ニンジン・ミズナ・ハウレンソウ

4年 トウモロコシ・枝豆・スイカ・聖護院ダイコン・白菜

5年 カボチャ・ナス・インゲン・聖護院ダイコン・金時ニンジン・白菜・キクナ

6年 トウモロコシ・枝豆・スイカ・聖護院ダイコン・野沢菜・キクナ

特別支援学級 キュウリ・トウモロコシ・サツマイモ・聖護院ダイコン・ハウレンソウ